

クリ「ぼろたん」における早期成園化のための苗木育成法と幼木期の枝梢管理法

「ぼろたん」の副梢利用苗を育成するためには、「丹沢」や「筑波」より生育が劣るので、できるだけ基部径の大きい台木の低い位置に接ぐ。また、幼木期に結果母枝の先端部を5分の1切り返すと、着穂数を多く確保しながら早期成園化ができる。

農業研究センター球磨農業研究所（担当者：春崎聖一）

研究のねらい

消費地からの期待が非常に大きい新品種「ぼろたん」は、平成20年度から新植されており、生産量がまだ少ないため、早期に生産を拡大していく必要がある。しかし、異品種混入防止のため高接ぎ更新ができないので、新植からの早期成園化技術の開発が求められている。

平成15年6月に公表した農業の新しい技術No. 522により、「丹沢」では副梢利用苗と結果母枝の繰り返し処理により早期に成園化できることを明らかにしている。そこで、「ぼろたん」における副梢利用苗の育成法と幼木期の枝梢管理法を開発する。

研究の成果

1. 育成した苗木における「ぼろたん」の副梢発生本数は約2本で、「筑波」より少なく、「丹沢」より多いが、樹高と副梢の長さはその2品種に比べて短い（表1）。また、台木の接ぎ木部の基部径が大きいほど副梢の発生本数が多い（データ略）。
2. 台木の接ぎ木部の位置が低いほど、樹高が高く、副梢の発生本数が多い大苗となる（表2）。
3. 幼木期のせん定時に結果母枝の先端部を5分の1切り返すと、雌花数や着穂数を多く確保しながら、次年度長い結果母枝候補枝を多く発生させることができる（表3、表4）。
4. 3分の1で強く切り返すと、雌花数や着穂数が少なくなり、次年度の結果母枝候補枝の伸びは良いが、樹冠の拡大につながらない。無処理の場合、初年度の雌花数や着穂数は多いが、次年度の結果母枝候補枝の伸びは悪く、隔年結果を起こしやすい（表3、表4）。

普及上の留意点

1. 本試験は、球磨農業研究所の表層多腐植質黒ボク土での調査結果である。
2. 凍害を受けやすい地域では、台木の接ぎ木部の位置が低いほど被害を受けやすいので注意する。
3. 結果母枝の先端部を切り返すと、発芽期・展葉期が前進化し、その時期に強い低温に遭遇した場合、発芽不良になる場合があるので注意する。なお、発芽不良となった結果母枝では、雌花は着生しないが、副芽から新梢が発生するので、その後の樹体生育には影響が小さい。

表 1 穂木品種と苗木生育との関係(2009・2010年)

品種	樹高(cm)	副梢の生育		全生長量 (cm)
		発生本数 (本)	平均長 (cm)	
ぼろたん	106	2.1	68	249
丹沢	153	1.4	113	306
筑波	163	3.1	85	425

注 1) 「筑波」実生 1 年生台木に各品種を接ぎ木

注 2) 接ぎ木時の台木基部径: 15mm (地上20cmを測定)

注 3) 樹高: 接ぎ木部から先端部までの長さ

注 4) 副梢発生数: 基部径 5mm以上

注 5) 全生長量: 樹高+副梢発生本数×平均長

表 2 接ぎ木位置と副梢発生本数との関係(2010年)

接ぎ木 位置	樹高(cm)	副梢の生育		全生長量 (cm)
		発生本数 (本)	平均長 (cm)	
地上20cm	111	2.6	71	296
地上40cm	88	1.7	64	198
地上60cm	71	1.3	58	146

注 1) 「筑波」1 年生台木に「ぼろたん」を接ぎ木

注 2) 接ぎ木時の台木基部径: 16mm (地上20cmを測定)

注 3~5) 表 1 と同じ

表 3 幼木期における結果母枝の切り返し程度による雌花数と着穂数の推移(2009・2010年)

試験区	雌花数(個/母枝)		着穂数(個/母枝)	
	3年生	4年生	3年生	4年生
1/3切り返し	3.2	6.4	1.2	2.5
1/5切り返し	4.8	7.5	1.9	3.8
無処理	5.4	3.7	2.7	2.3

注 1) 調査年: 2009年(3年生)、2010年(4年生)

注 2) 切り返し時期: 2/20(3年生)、2/19(4年生)

表 4 幼木期における結果母枝の切り返し程度による樹体生育(2009・2010年)

試験区	次年度結果母枝候補枝				樹冠占有 面積 (m ²)	樹高 (m)
	発生数 (本/母枝)		平均長 (cm)			
	3年生	4年生	3年生	4年生	4年生	4年生
1/3切り返し	2.9	3.1	102	91	3.9	2.9
1/5切り返し	4.2	4.1	90	75	4.7	3.3
無処理	3.7	2.1	52	45	2.4	2.4

注 1) 調査年: 2009年(3年生)、2010年(4年生)

注 2) 切り返し時期: 2/20(3年生)、2/19(4年生)

注 3) 次年度結果母枝候補枝: 長さ30cm以上の充実した枝